

「鶴岡型小中一貫教育」の推進について(案)

令和4年8月26日
教育委員会学校教育課

資料No.2-1

1 学校教育の現状と課題

(1) 現状

児童生徒数等の推移	R4	R10	増減
小学校児童数	5,560	4,406	-1,154
児童数100人未満の小学校数	8	12	+4
複式学級のある小学校数	2	6	+4
中学校生徒数	3,047	2,684	-363
生徒数100人未満の中学校数	2	3	+1

(2) 課題

- | | |
|--|--|
| <p>① 確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思考力・判断力・表現力の育成 ○情報活用能力の育成 ○算数・数学、英語の学力向上 <p>② 中1ギャップへの適切な対応</p> <p>※R3不登校数
小6 14人 中1 43人(新規35人)</p> | <p>③ 社会性育成の強化</p> <p>※少子化の加速、地域コミュニティの希薄化等</p> <p>④ 鶴岡を愛する子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域との連携・協働による特色ある活動の更なる充実 ○キャリア教育の充実 <p>⑤ 多様化・複雑化する課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校間や地域と連携した対応 |
|--|--|

2 課題解決の手法

(1) 地域とともに特色ある教育の推進

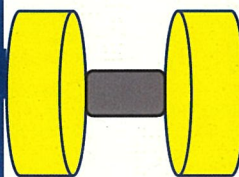
コミュニティ・スクール(学校運営協議会:CS)

学校と保護者・地域住民等が育てたい子ども像や目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組みである学校運営協議会を設置している学校。

「コミュニティ・スクール」で期待されること

- ★子どもたちの学びや体験活動が充実するとともに、地域の担い手としての自覚が高まる。
- ★地域との組織的な連携・協働体制が確立することで、子どもとじっくり向き合う時間が確保される。
- ★学校の教育活動に参画することで、生きがいや自己有用感の形成につながるとともに、学校を核とした地域のネットワークが形成される。

両輪



(2) 小中連携教育の深化

小中一貫教育

小学校と中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を見通した教育課程を編成して継続的・系統的な指導を行う教育。

「小中一貫教育」で期待されること

- ★一貫した方針による系統的な指導により、個性や能力を伸ばすことができる。
- ★異年齢の子どもたちの意図的な交流等により、豊かな人間性や社会性を育成できる。
- ★中1ギャップの軽減、いじめや不登校が減少する。
- ★弾力的な教育課程の編成や小学校での教科担任制の導入など創意工夫した教育活動が可能になる。

CSと小中一貫教育を両輪として推進

鶴岡市教育目標

ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人間の育成

「鶴岡型小中一貫教育」の推進について(案)

令和4年8月26日
教育委員会学校教育課

資料No.2-2

3 鶴岡型小中一貫教育の概要

(1) ねらい

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 連続した学びによる学力の向上 | 2 豊かな人間性、社会性の育成 |
| 3 心身の健康の増進と体力の向上 | 4 ふるさと鶴岡を愛し、誇りに思う心情の育成 |

(2) 基本方針

- これまでの「小中連携教育」を深化させ、「4つのつながり」を大切にした「鶴岡型小中一貫教育」を進める。
- 中学校区の実情を踏まえ、小中一貫校への移行も含めて小中一貫教育を推進する体制を検討し、整備する。(基本計画策定委員会、推進委員会)
- コミュニティ・スクールとの関連を図り、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進める。(中学校ブロック毎のCSの実施)
- 特に「ふるさと学習」(総合的な学習の時間)や「外国語教育」、「ICT活用教育」の充実を図る。

(3) 大切にす4つのつながり

【目標のつながり】

児童生徒の課題を踏まえ、課題の解決に向けて9年間で育む子ども像や取組みの重点を明らかにして共有する。

【教育課程のつながり】

目指す子ども像に基づき、重点等に対応した教育課程を編成する。

- ・系統を明らかにした教育活動の実施
- ・課題に応じた授業時数の配分
- ・学年区分の設定(4-3-2等)
- ・計画的な乗り入れ授業の実施

一貫校

【活動のつながり】

計画的な交流を実施する。

- ・小学生による中学校体験入学
- ・中学生による小学校でのボランティア活動等

教職員の協働を実現する組織づくりと合同研修を実施する。

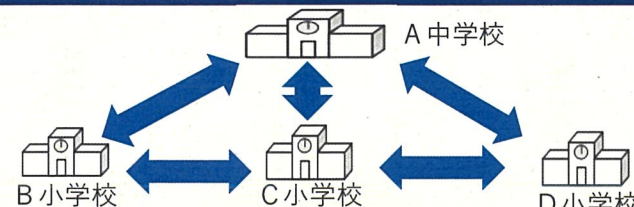
【家庭・地域とのつながり】

家庭・地域とともにある小中一貫教育を進める。

- ・生活リズム、ネットモラルの指導
- ・地域のよさや鶴岡の強みを知る、追究する「ふるさと学習」の推進
- ・休日部活動の地域移行の促進

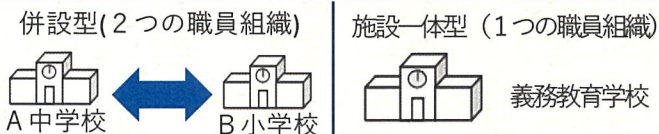
(4) 3つの形態

既存の中学校ブロックでの一貫教育



発展

小中一貫校の設置



4 スケジュール(作業予定)

